

第一分科会「被災者のいのちとくらしを守る」

被災者医療費窓口負担免除に関するアンケート調査から

宮城県保険医協会 井上博之

調査期間 2014年7月1日～9月1日（同年4月より市町村国保と後期高齢者医療の一部の方の免除が再開したことを受けて調査を実施）

被災者の声

免除対象者からは感謝の声だけにとどまらず……

- ◇ 現在入院中です。糖尿病と震災後に（仕事ができなくなり）精神的な病になり、精神病院にお世話になって2年になります。収入がなく、医療費免除再開は本当に嬉しく思います。毎日の生活費と入院費は姉二人で頑張っています。本当にありがとうございます。
- ◇ 私たちは大変助かっています。これから一生医者通いなので、二人で医者を利用すると1回につき2万円になります。困っていました。まだ続けてほしいです。
- ◇ 今回の免除再開には本当に助かりました。家は全部流され、去年は4月から医療費がかかり、大変でした。これからは少ない年金で公営住宅の家賃も支払わないといけないので、病院にはなるべくかからないで我慢しようと思っています。去年は心房細動になり、カテーテルの手術もし、今も通院中です。今後のことがただただ不安でいっぱいです。
- ◇ 薬がないと生活できない。夫婦二人で病にかかっています。金銭的に苦しかったので免除再開はとても嬉しいことです。でも消費税が8%になり、何でも値上がりしたのでやはり1日2食粗食です。
- ◇ 流し者全員に免除してもらえると良いと思います。他人に免除されているのがわかると今の場合は恥ずかしいです。流し者ならありがたく使えますが……病院に行きにくいです。

免除対象外となった方からは……

- ◇ 同じ県民なのに不公平だ。家は流し、現在も仮設暮らし。働いたために、（会社）厚保に加入させられたために医療費負担している。働かないほうが得をする。何か変じゃないですか。
- ◇ 一生懸命、働いて金を取ると免除されないのは納得できない。毎日遊んで生活保護をもらっている人には免除される。こんな理不尽はないと思う。私たちは毎日働いて、税金も払っているのにどうしてですか？教えて。働かないほうがいいのかしら？
- ◇ 同じ被災者なのに、各県や各市町村によって違うのは納得できない。岩手県は今でも無料。

- ◇ 確定申告、来年でも良いと言われたが、どの道申告しなければと思い、収入を申告したが、1年遅れて申告すれば免除になったと思う。震災で無収入だったのに。

各調査項目の集計結果

「現在、持病がありますか」	はい	80.4%		
「健康に何らかの不安がありますか」	はい	89.1%		
「現在、医療機関を受診していますか」	はい	78.7%		
	免除あり	90.0%	免除なし	70.7%
持病がある方で	免除あり	93.8%	免除なし	81.4%
「免除対象の方に 免除が終了した場合は医療機関を受診しますか」				
	これまで通り受診する	51.5%		
	受診回数を減らす	29.7%		
	受診をやめる	6.2%		
「免除対象が限定されていることについて納得できますか」	はい	30.1%	全体	
	免除あり	54.2%	免除なし	13.1%

会員（医師・歯科医師）アンケート結果（2013年5月実施）

- ◇ 白内障の患者さんで、長期ケアをしていたが、視力障害がみられるようになり、手術適応かなと思っていたら来院しなくなった。自動車を運転するということだったので、交通事故が心配だ。
- ◇ アトピー性皮膚炎で治療を中断していると見られる患者さんなど、治療が継続的に必要なのに来院していない。
- ◇ 4月より医療費負担になるので長期処方してほしいとの依頼が数件あり。
- ◇ ペリオ（歯周病）の進行で、歯牙の動揺が進み、咬むことが出来ないが、その後来院していない。
- ◇ 補綴物が完成しているのに装着しに来ない。
- ◇ もともと歯科治療の治療費が高いと思っている患者さんは免除証明書が届くまで来院しない方が多かったです。

宮城県の受診状況のデータ

資料「被災地の医療費窓口負担免除の重要性」を参照